

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL.116 (年4回発行)

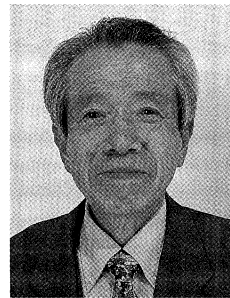
■発行日 令和7年6月30日
 ■発行 三春まちづくり協会
 ■編集 三春まちづくり協会広報部会
 三春町大字貝山字泉沢100-1
 TEL/FAX(62)3988

『地域で支えあう協働のまちづくり』 ―令和七年度三春まちづくり協会―

本協会においては、会則の定めにより毎年総会を開催して、予算、事業、委員の選出、その他重要事項を協議いただいております。本年度は四月二十四日に開催され、全ての議案において賛成多数をもって可決されました。

相川協会長

あいさつ要旨



協会長 相川 義則

本日は、年度はじめの大変お忙しい中、三春まちづくり協会の、総会に出席いただき、誠にありがとうございます。

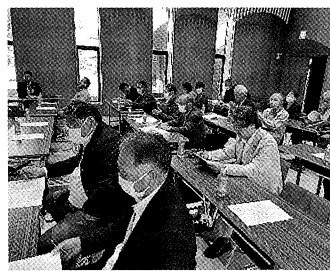
又、坂本町長様、企画政策課様には、公私共々多用の中、御出席いただき感謝申し上げます。

今年の滝桜は昨年よりは少々遅く四月八日に開花宣言があり、連日多くの観光客に街中を散策して頂きました。

今は新緑が美しい落ち着いた街となっています。

さて、今年度は、第八次三春町長期計画『いつまでも「ゆかしい」まち三春』

みんなで育む一人ひとりの想いが花開く地域づくり』をテーマに展開されます。三春まちづくり協会も第八次三春町長期計画をふまえ、更なる発展を目指して、活動してまいります。皆様のご協力を宜しくお願いします。



総会の様子

少子高齢化が進み、大変難しい課題の中、歴史あるわが街が、清潔で美しい街

更に安全で安心して暮らせる街、町民が誇れるまちづくりに、少しでもお手伝いが出来ればと思っています。

本日は、今年度の活動方針等について審議して頂き、歴史あるわが街が安全で安心して暮らせる街、町民が誇れるまちづくりに、三春

坂本町長

あいさつ要旨



三春町長 坂本 浩之

令和7年度の三春まちづくり協会の総会の開催、誠にありがとうございます。

三春まちづくり協会の皆様におかれましては、日頃より町政全般にわたり、多大なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、各種まちづくり事業にも積極的に取り組まれ、地域の活性化に大きく寄与されており、ことに深く感謝申し上げます。

さて、今年は、合併七十周年の節目にあたり、二月には若田光一さんの講演会の開催、三月には復刻版の三春牛乳の販売、四月にはいわえ認定こども園やアウトラヴィレッジ三春のオープンなど、様々な事業を展開しているところであります。

今後も、合併七十周年に係る事業、さらには、地域の活性化に向けた取り組みを進めていきますので、引き続き、三春まちづくり協会の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、三春まちづくり協会の今後益々のご発展と、地域の発展、ご臨席の皆様のご健勝ご活躍を祈念いたしまして祝辞いたします。

初心に聴く

■広報部会 近内 吉隆

四月中旬、カメラをもって散歩に出かけました。三春駅裏から八島台につながる八島坂の桜が満開となっていました。住んでからずいぶん経ったなあとしみじみ思います。あの頃はまだ桜の背も低かったのにと。特に三春駅から八島坂を見上げる景色が最高です。なかなかこの階段は老体には「きつい」のですが、休まないで登っていくと、きれ

一級建築士事務所



結建築研究室

佐久間 保一

福島県田村郡三春町八島台 7-5-13 TEL (0247) 62-1775

うやまう心に、真心でご奉仕する



菊川屋

☎963-7765

福島県田村郡三春町荒町30

〈0247〉62-3600



FAX

〈0247〉62-1300

役員名簿		
職名	氏名	氏名
協会長	相川 義則	長久 清美
副協会長	大内 長久	小池 清美
大町委員長	五十川 一政	白石 文夫
中町委員長	大内 長久	宗像 明久
八幡町委員長	渡邊 渡	先崎 正之
荒町委員長	橋本 広治	渡辺 正明
北町委員長	人見 正司	平山 聡
新町委員長	佐藤 正史	荒井 しづ
八島台委員長	橋本 好美	佐久間 保一
監事	山口 晋	佐久間 覚
生涯学習部会長	佐藤 正史	荒井 しづ
環境部会長	橋本 好美	佐久間 保一
福祉部会長	佐久間 保一	山口 晋
地域部会長	佐久間 保一	佐久間 覚
街並部会長	佐久間 保一	佐久間 覚
広報部会長	佐久間 保一	佐久間 覚
専従嘱託員	佐久間 保一	佐久間 覚

いな桜に包まれているような気持ちになります。県外に出かけた時、「福島県の三春町に住んでいます。」と話す。「三春は滝桜のあるところですね。」と言ったところでも多いですね。すると、続けて「三春は福島県のどのあたりにあるんですか。」と聞かれます。そんな時は「郡山市の東側です。」と答えます。三春は「滝桜」をはじめ多くの桜が散在しています。まさに「桜の里・三春」です。このようにきれいな景色を見られる「わが街」をとても気に入っています。今年度から八島台二区の副区長となり、区の会計の仕事をしています。あわせて三春まちづくり協会の広報部に所属することになりました。三春まちづくり協会は、「みんなが安心して暮らせる地域づくり」を目的として多くの事業を行っています。広報部会はその事業を町民に知らせたり、地域で取り組んでいる様々なことを交流したりするという大事な役割を持っていると思います。分

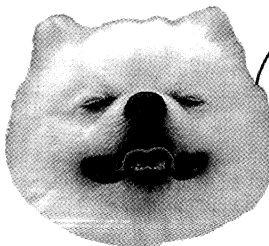
からないことも多いのですが、部員の皆様と力を合わせて仕事をしたいと思っています。お世話になった地域に少しでも今までの恩返しができるかと思っています。皆様のご協力をお願いします。■広報部会 小出 寿一 はじめまして。このたびは広報部会を担当させていただきます。このたびは、ただ魚を釣るだけでなく静かな水の流れや美しい風景、そしてその場の空気を感ずることが出来る貴重な体験です。釣りを通じて自然の偉大さを実感し心をリフレッシュさせることができます。この趣味を通じて学んだことは、忍耐や観察力、そして自然への敬意です。広報活動においてもこれらの要素は重要だと考えています。今後、皆様にとって有意

義な情報を提供したいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。■生涯学習部会 佐藤久美子 私は今、原稿用紙に向かい、これを書いていきます。数百年ぶりに原稿用紙を見て、書く事となりました。パソコンが当たり前の時代に、私はパソコンを持っておらず、出来ません。普段は携帯電話で事足りてますが、こういったものを書く時は困ってしまいます。未だにパソコンが使えないのは、恥ずかしい事だと思います。この歳から覚えられるか、使いこなせるか不安ではありますが、今年こそは挑戦してみたいと思っています。■生涯学習部会 神山 光寿 生涯学習部会の委員となりました。三春小学校PTA所属の神山と申します。いつも年4回発行される、三春わが街を拝読し「三春町には素晴らしい考えの方向がいくつかあるんだなあ」と感じていましたが、まさか自分が三春まちづくり協会の構成員になるとは思いませんでした。今春には三春小学校に45名の新1年生が入学しまし

た。1年生も上級生の皆さんと一生懸命に通っています。過日、町立小学校教育のあり方基本方針において、小学校再編について三春・中妻・中郷の3校を統合し、令和9年4月には開校が決定しました。（御木沢・沢石の2校が令和10年4月統合する、岩江はそのまま継続）我々PTAも地域とのつながりを持って、子ども達を見守り育てていかなければならないと考えています。また、今年度は2025年となり団塊世代（1947年からの3年間の第1次ベビーブーム生まれ）の方々が全員が75歳以上の後期高齢者となります。まちづくり協会は、みんなが安心して暮らせる地域づくりを目的として、色々な事業を行っている組織であります。大任を仰せつかり、自身で責任の重さを痛感しておりますが、まちづくり協会役員の方々の協力と、さらに地域住民の皆さまとのつながりを持ち、小さな子どもから大きな大人まで、障がいのある無しに関係なく、見守り合いながら生活ができるよう構成員として役割を担っていききたいと思っています。■地域部会 本田 康朗 この度、三春まちづくり

協会地域部会員として活動して行く事になりました。三春町消防団三春分団長を務めております本田と申します。町民の皆様におかれましては、平日より消防活動にご支援・ご協力を賜りこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。われわれ消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るといふ重要な役割を担っております。今後も今まで以上に、町民の皆様が安心して暮らせる町づくりを目指して、少しでも皆様のお役に立てるように、三春町消防団一丸となって地域のために活動して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。■街並部会 古谷 和則 荒町地区の字委員会参加がきっかけで三春まちづくり協会へ参加させていただくこととなりました。（ほぼ強制でしたが。）3月下旬にまちづくり協会の合同部会が開催され私の初参加となりました。私の所属する街並部会では、今年度の計画では三春ゆかりの偉人の石柱を設置したい事や、既に設置された石柱の維持管理と秋祭りでは石柱拓本ラリーを実施し町内

安心と信頼のお取引を続け30年!!



県内買取
出張料 査定料
無料!!

町の買取

生前整理
遺品整理

店じまい

空き家整理
レクシオン整理
骨董品整理

鈴木屋

090-9422-3362

代表 鈴木仁 郡山市咲田2-22-11 TEL024-954-9727

各部会の名簿			
部会	氏名	部会	氏名
生涯学習部会	◎平山 聡	◎橋本 好美	地域部会
	○島野 龍児	○根本 昌師	
	川又 暉之	佐藤 仁一	
	単田 和美	阿部 誠一	
	佐藤久美子	青柳 秀子	
	佐伯 孝宏	遊佐三枝子	
	宗像 義徳	横山 博宣	
	鈴木 幸夫	伊藤 一三	
	神山 光寿	本田 康朗	
	安部 好市		
環境部会	◎佐藤 正史	◎佐久間保一	街並部会
	○村上 伸治	○大澤 賢一	
	浪岡 芳夫	橋本 聡	
	渡辺 州広	中村 利孝	
	額賀 恵一	須釜 孝治	
	山田りつ子	古谷 和則	
	橋本 勇	渡辺 勝雄	
福祉部会	◎荒井 しづ	◎山口 晋	広報部会
	○橋本喜恵子	○永井 久	
	佐久間貞治	本田 圭子	
	渡辺 修二	長南 仁	
	柴 佳代子	小出 寿一	
	井上 聡	目黒 知希	
	加藤 愛子	近内 吉隆	
	國井 文夫		
	影山 清		
	小川 秀悦		

◎部会長・○副部会長

当時、板垣退助とともに自由民権運動を主導していた河野広中らが福島事件（三島県令による会津三方道路建設工事の圧政に対する

三春まちづくり協会の 部会活動

三春まちづくり協会には、生涯学習部会、環境部会、福祉部会、地域部会、街並部会、広報部会の6つの部

■環境部会

「誰もが暮らしやすいま

会があり、それぞれがテーマに向かって活動しています。そこで、令和六年度の活動を紹介します。

■生涯学習部会

活動テーマは「夢を持ち豊かな心が育つまちづくり活動」であり、これに向かって次のような活動をしました。

○児童生徒の安全を守る活動として、登下校の児童生徒に対する見守り活動に助成しました。

○三春小学校放課後まほらっ子教室に対し遊具代を助成しました。

○詐欺被害防止講演会（講師・田村警察署刑事生活安全課生活安全第一係）を開催しました。

○「むすんでひらいて」をテーマに福聚寺住職玄侑宗久氏の講演会を開催しました。

■福祉部会

ちづくり活動」をテーマに田村西部環境センター、三春水環境センターを視察研修しました。

○ふれあいの集いへの開催協力と助成をしました。

○三春町健康づくり推進員として「三春町健康づくり推進員活動」に協力しました。

○一般救急法講習会（心肺蘇生、AED取り扱い）を田村消防署三春分署員を講師に行いました。

・高齢者は予防救急が重要なこと。郡山消防署管内では1日50件程度救急出動していること伺いました。

・ケガ人などに出血がある場合は、血液に触らない。胸部圧迫で、ろっ骨が折れた場合は法的に守られるので、躊躇せずに行うこと。（救命処置は、基本的に義務のない第三者が他人に対して、傷病者の身体に対する「急迫の危害」を逃れさせるために実施するものであり、悪意または重過失がなければ心肺蘇生の実施者が救急患者から責任を問われることはないといわれています。）

■地域部会

活動テーマは「みんなが築くつながりのあるまちづくり活動」であり、これに向かって次のような活動をしました。

○龍穂院愛宕散策路を踏査し、危険箇所や案内標識の確認をしました。

・龍穂院愛宕散策路の散策路ウォークを三春観光ガイドの会の案内で歩き、愛宕神社では大変きれいな紅葉を見ることができました。

■街並部会

活動テーマは「地域の特徴と資源を生かした活力あるまちづくり」であり、これに向かって次のような活動をしました。

○「河野広中生誕地」石柱設置について、生誕地の特定は困難な現状を踏まえ、最も相応しいところに設置することで調整することになりました。

○三春秋まつりで、石柱パネルを掲示し「石柱拓本ラリー」「石柱すごろく」を行いました。石柱すごろくは、町内の地名を読むゲームですが、難しかったようです。

○石柱の清掃を秋まつりに

■広報部会

活動テーマは「情報を共有し協働するまちづくり活動」であり、これに向かって次のような活動をしました。

○協会活動を広く町民に知らせる取り組みとして、年四回「三春わが街」を発行しました。

原稿集め、部会員による校正、業者発注と地味ではありますが、大変忙しい部会だと感じています。

昨年度の部会活動（事業）は目標達成できています。

合わせて、実施しました。

認知症の方 寝たきりの方
退院支援に力を入れています！

たき 多喜の家 アカネサス
在宅介護支援住宅

ご自宅での介護、ご退院先にお困りの方
私たちがお手伝いいたします

年金内で暮らしたい

随時入居者募集中 入居保証金0円

お問い合わせ先 TEL0247-61-7333 FAX0247-61-7332
〒963-7766 田村郡三春町字中町34

田村高校生の「総合的な探究の時間(夢ゼミ)」の紹介

第8回

田村高校では、総合的な探究の時間（夢ゼミ）において、三春町の歴史、風景、町の課題、イベントなどを高校生の目線で探究し校内発表を行っています。そこで、三春まちづくり協会では、ご担当される先生方の協力を得ながら発表内容の一部を紹介いたします。〈第8回〉

女性の社会進出

SDGs 目標5ターゲット

私たちは、日本の女性の社会進出の状況を他国と比較してどの程度の達成状況なのかを調べてみました。そこで、ジェンダーギャップ指数という観点から見てみました。

ジェンダーギャップ指数とは経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命から算出される男女格差を示す指標のことで、(以前にも、三春わが街 第 111 号 (令和 6 年 3 月 31 日発行) で先輩が紹介しました)

2024 年の報告によると、世界 146 か国中、上位 3 位の国（アイスランド、フィンランド、ノルウェー）と 118 位の日本の政治活動、経済活動を比較しました。

今の日本は先進国にもかかわらず女性の政治参加率が低く、国会議員や閣僚の割合や、企業での女性の管理職の割合も低く、男女の賃金格差も大きくなっています。また、女性の労働参加率が低く、その理由として、出産や育児によるキャリアの中断があげられます。

そこで、今年の２月に三春町役場職員、田村高校教員に男女格差に関するアンケートに協力をいただきました。年齢、性別、産休育休を取得したかなど６項目の質問をし、５４名の方に回答いただきました。男女格差をどのような時に感じますかという質問に対して、多くは「育児は女性が多い」「力仕事は男性」という意見が多く、今後どう変わってほしいかという質問に対しては「男性の育児休業取得率をあげる」「個人の能力に見合った仕事をする」という回答を得ることができました。

これらの意見と回答を受けて、女性の労働参加率をあげるためには、やはり、育児制度を充実させて男性の育児休業取得率をあげることで、多くの女性の活躍の場が広がるのではないかとということを改めて考えさせられました。

ジェンダーギャップ指数1位のアイスランドでは、男性の育児休業取得率が約9割であり、育休中の賃金の8割が保障されています。そして、アイスランド、フィンランド、ノルウェーの女性の多くは、自分の国の現状の社会状況を、自らの力で良い方向に変えなければならない、変えていけるという意識や考えを強く持っていると感じました。

このような意識や考えを持つことができる主な理由は、働く女性の自立を支える社会の構造や仕組み、そして社会の理解があるということも探究する中で学ぶことができました。

今の日本社会をどのようにしたらよりよくなるのかということを若い世代、特に高校生の私たちが考え、ジェンダーギャップ指数、優良な土位国を模範に、行動に変えていくことが大切だと思いました。

津守 舞／羽賀彩夏／増子桃奈／嶋原 桜／吉田涼乃

5 ジェンダー平等を 実現しよう



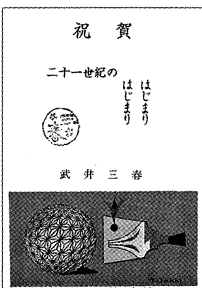
国際連合広報センター
HP よりダウンロード

ジェンダーギャップ指数とはどのようなものなのか簡単に説明すると、世界各国の男女間の不均衡（ジェンダー・ギャップ）を示す指標である。経済・教育・政治・健康の4分野の統計分野をもとに算出され、スコアは最大が1（平等）、最低が0（不平等）で小数点第3位までの値で示される。〈三春わが街 第111号より〉

編集後記

「武井武雄と三春」という人物を「
▽武井武雄」か？戦前からの兄
存じであらうか？
童画作家であり、郷土玩具蒐集
家などでもあった。「武
井武雄」とも三春の繋がりを感じて
記してみたい。「三春人形」は江
戸時代から続く郷土玩具で、昭
和の初めから30年代前半は存亡
の危機にあったとも言える。その
復興に尽力したのが小沢太
郎であった。復興を記録した本
「三春人形」が昭和39年に発行
された。表紙のレリーフや中表
紙の扉画は武井が手掛け、巻頭
には三春人形の賛辞を寄稿して
いる。郷土玩具蒐集家でもあつ
た武井にとって嬉しい出来事でも
あつたと思われる。▽武井の郷
土玩具の入手方法は、制作地に
問い合わせて片っ端から購入し
る方法であり、三春人形もデコ
屋敷から購入している。▽三春
から人形生などが届いた昭和3年
の春、娘が生まれた。名前を「三
春」と命名したとのこと。一方
ならない三春への思いが感じられ
れる。その「三春」と名付けられ
た武井三春さんと仕事での関連
わりを持つことができ、約13年
間賀状のやり取りをさせていた
が、父娘ともども三春を愛して
くださったことに感謝したい。

(山 口 晋)



コミュニティだより
「三春わが街」第一一六号

発行日 令和七年六月三十〇日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会

三春町大字貝山字泉沢一〇〇一
(六二)三九八八